

平成23年度
さっぽろ

子ども食品Gメン体験事業

体験レポート

札幌市保健所では、“食品Gメン”（食品衛生監視員）の仕事体験を通じて、食の安全について知識や理解を深めてもらうため「子ども食品Gメン体験事業」を実施しています。

親子で

札幌市中央卸売市場で“食品Gメン”を体験！

流通

全道・全国各地から新鮮な魚や野菜が集まる札幌市中央卸売市場。この市場に流通する食品の安全を守っている“食品Gメン”のお仕事を、市内の小学4～6年生の親子に体験してもらいました。

市場の“青果棟”でメロンのせりを見学後、“水産棟”では赤外線温度を測る「放射温度計」を使って、マグロやタコが基準温度以下で保存されているかどうかをチェック。

検査室では、白衣を着て「手洗いチェッカー」や汚れが数値化される「ルミテスター」などの機器を使った検査を体験してもらいました。



見学先 札幌市中央卸売市場(中央区北12条西20丁目)

日時 平成23年7月29日(金) 6時30分～11時00分

参加者 小学4～6年生の親子 6組12名

子ども

参加された方の声 (参加者アンケートから)

大人

- 汚れのチェック体験が一番楽しかった。こんなにも汚れが色々なところについているとは思わなかったのでびっくりしました。
- 朝早いので、私は眠たかったのですが、卸売市場にはすごく元気な人がたくさんいたのでびっくりしました。
- お母さんのすすめでこのイベントに来たのですが、とっても楽しく見学・体験できました。

- 新鮮な品物が流通しているのを目の当たりにできて感動した。
- 初めて市場を見学して楽しかった。温度管理も細かく行っているのにおどろいた。食品衛生に関する実験も体験できたのはとても貴重でよかった。
- 子供にもわかりやすい内容で、中央卸売市場のせり、仕事、安全について学ぶことができた。検査も体験できたのでより理解が深まったと思う。参加できて大変良かった。

◎“食品Gメン”とは？

札幌市保健所や保健センターにいる“食品Gメン”。正式には「食品衛生監視員」といいます。食品衛生監視員は、飲食店やスーパー、食品工場などの立入検査や食品の抜き取り検査のほか、食中毒の調査を行ったり、市民の皆さんからの相談に対応するなど、札幌市の食の安全を守るため日々働いています。